

回 青木茂建築工房・青木茂氏に聞く

知名度と実績で選ばれる木材保護塗料「キシラデコール」

信頼できる木材保護塗料は使い続ける

老朽化した建物を蘇らせる“リファイニング建築”で知られる建築家の青木茂氏は、木材についても豊富な実績とノウハウを持つ。その青木氏が、建物の外部に木を使用する際にいつも指定するのが、木材保護塗料「キシラデコール」だ。伝統に支えられた木の活用と、建築の価値を高める木の在り方について、青木氏に語ってもらった。



首都大学東京教授 青木茂建築工房 主宰 青木茂氏

福岡市の街中に、周囲の開発から取り残されたように、築100年の木造民家が残っていた。雨漏りがひどく、耐震性能も現行基準からはほど遠い。解体されてもおかしくない状態だったが、建て主は存続を望んだ。

青木茂氏に再生を依頼し、その期待に応じて再生したのが「T邸」だ。一部の傷んだ材こそ取り替えたものの、100年間持ち応えた木造の軸組みは、基本的にそのまま生かしている。耐震性能は、随所にコンクリートの耐震壁を挿入することで確保した。

青木氏は、古い建物を簡単には壊さない。「100年も年月を重ねたのだから、適切に手を加えれば十分に再

生できます。今から200年持つ建物を新築するというよりも、100年間持ち応えた建物を、さらに100年持つように再生すると言った方が、説得力がありますよね。

その言葉通り、T邸でも、さらに長く価値を保つような配慮が施されている。例えば、夏の日射を避け、雨風から建物を守るために設けられた木造の深い庇が、その一つだ。庇周りをはじめ、外部では意匠的に木材を多用しているが、その仕上げに使ったものこそ、木材保護塗料の「キシラデコール」だ。

「キシラデコールとの付き合いは、もう長いですね。知名度が高いし、

自分で使ってきた経験からも安心して使える塗料です。信頼できると分かった材料は使い続けます」と、青木氏は言う。

木材保護塗料の使用でさらに長持ちする建築再生

古い木造建築の再生には、学べることが多いという。「リファイニング建築を手掛ける際には、必ず現況を調査しますが、昔の大工の技術は感心することばかりで、非常に勉強になりますね。」

愛知県豊田市の伝統的な街並みの一角にあった「N邸」もその一つだ。築60年になる木造2階建ての民家は、耐震診断の結果、Is値(耐

震指標)が0.2~0.3程度と極めて低かった。しかし、その建物を見たある大工は、「こんなに丁寧につくられている建物が壊れるわけがない」と口にしたという。

「伝統的な木造の建築や文化、技術は、お金では買えません。一度失ってしまったら取り戻せないんです」

そう語る青木氏は、伝統をくむ在来工法にこだわり、現行の耐震性能を満たす現代住宅としてN邸を再生した。

N邸では、通り沿いの外観を木製ルーバーで覆って街並みとの調和を図るなど、伝統を継承しつつも、モダンな意匠でまとめている。そこで用いた木材もやはりキシラデコールで保護した。「たいてい僕が使うのは木肌の色をそのまま生かせるキシラデコールやすらぎ」です。木を保護しつつも、色の変化は自然に任せています。

木は自由が利く素材 技術の伝承と活用の促進を

これから長く価値を保てる再生を目指す青木氏は、メンテナンスにも気を配る。「特に、民間のクライアントとは、完成後も親しい付き合いが続くので、状況を見に行くことも



愛知県豊田市の「N邸」は、築60年の民家を再生したものだ。外観は木製ルーバーで覆い、伝統的な街並みに溶け込ませている。今回の改修では、2階建ての既存部と調和するように、総ヒバ造りの増築部も建てた。外部に使用した木材は、全て「キシラデコールやすらぎ」で仕上げ、耐久性を確保している

(写真 イメージグラム)

あるし、塗装も含めたメンテナンスのアドバイスもしています」と言う。

最近では、大規模なリファイニング建築を手掛けることの多くなった青木氏だが、原点をさかのぼれば中小規模な木造建築に行き着く。若い頃から、数多くの木を扱ってきた青木氏にとって、木材は自由が利く使いやすい素材だという。

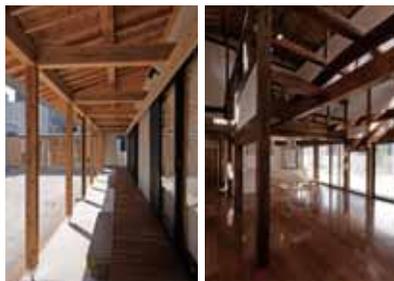
それだけに、木が置かれている現

状には不安を募らせる。「高度で繊細な日本の木造技術は、世界に誇れるものですが、技術の伝承や木材の活用はなかなか進みません。」

最近になって、国は木材の利用促進をうたっているが、それと同時に、「建築業界を挙げて、大工の技術が継承されるようなシステムを構築していくことも必要ではないでしょうか」と提言する。



(写真 / 小野 洋之)



築100年の民家を再生した福岡市の「T邸」。傷んだ材は取り替えたが、基本的に古い木造の軸組みを生かした。耐震性能は、随所にコンクリートの耐震壁を設けて確保。外観は一新したが、内部ではダイナミックな古い小屋組みが見られる。外部の木材は、「キシラデコールやすらぎ」で塗装している

木材保護のトータルソリューションパートナー

日本エンバイロケミカルズ株式会社



キシラデコール

JASS18 M-307 適合品



木材保護塗料部門 1位
「建研」全国メーカーランキング
(日経アーキテクチャ2011年12月10日号掲載)



**キシラデコール
フォレストエージ**

日本エンバイロケミカルズ株式会社
TEL: 03-5444-9864

大阪 〒550-0023 大阪市西区千代崎三丁目南2番37号 ドムシティカスビル ☎ 06-4393-0054
東京 〒105-0014 東京都港区芝二丁目5番10号 芝公園NDビル3階 ☎ 03-5444-9860
☎ 0120-124-123 www.jchem.co.jp [キシラデコールに関する情報満載!]

www.xyladecor.jp